

第 4 回東御市地球温暖化対策地域推進計画検討委員会議事要旨

H22.1.19(火) 15:00～17:30

東御市勤労者会館 2 階大会議室

【出席者】

(委員:敬称略)

佐藤 哲、宮原 則子、今井 道博、清水 賢司、久木田 淳、石川 昭隆、正田 寿男、関 正喜、
高藤 圭一、関 幸枝、森 まり子、新田 詔三、中澤 亥三、萩原 猛、工藤 浩平

[欠席:なし]

(事務局)

山浦市民生活部長、小菅市民課生活環境係長、寺田市民課生活環境係主査
西本技術部長(玉野総合コンサルタント)、中根係長(玉野総合コンサルタント)

【配布資料】

- ・東御市地球温暖化対策地域推進計画検討委員会会議次第
- ・資料1 東御市地球温暖化対策地域推進計画(原案)
- ・資料2 東御市地球温暖化対策地域推進計画策定スケジュール
- ・市報「とうみ」2010 年 1 月号 (地球温暖化対策の推進計画策定を進めています)

【議 事】

1 . 開 会

2 . 会議事項（事務局説明）

環境審議会での審議状況

- ・総評として、具体的な良い計画が策定された。
- ・基準年とした CO2 の総量の算定根拠を、具体的に示した方が良い。
- ・補助制度への市の考え方について質問があり、国・県の制度を見ながら検討したいと回答。

（１）地球温暖化対策地域推進計画（原案）について

説明資料 「資料１ 東御市地球温暖化対策地域推進計画（原案）」

3 . 会議事項（１）に関する委員からの意見と回答

【市の短期削減量】

中沢委員 p38、(p46)

2012 年に 2005 年の 13%減とすると、削減量は 59,285 トンが目標で、国・県が 4 万トン程削減し、残りを東御市でやらなくてはならないのだが、資料の 15,336 トンはどのように決められたのか。私の計算では 13%減のためには、市の削減量は 13,000 トン程やれば良いことになったが、ここで 15,000 トンとなっているのは、このように施策をやればこのくらい削減量が大きくなるということなのか、積算したらこうなったということなのか。

事務局

p72・73 に示した市の削減施策を、積み上げて目標を設定しました。施策が目標に足りるように積み上げを行った結果、目標を 0.6%上回ったということです。

【用語解説】

宮原副委員長

用語の解説ですが、長野県の防止計画も用語解説を載せているので、参考にして、ぜひ、載せていただきたい。優秀な文言、言葉が、使われていると思うので、お願いします。

佐藤委員長

できる限り、分かりやすく、市民が親しみやすくなるようにしてください。

【資料編：国の施策内容】

佐藤委員長

資料編の方で、東御市の温室効果ガスの設定根拠を示すことは大事と思う。

それ以前に大前提として、国の施策でこれだけ減るというのを使っているので、国の施策と市の施策は重複する内容が多いかもしれないが、「国の施策で、東御市において減るはずの積算の仕方」・国の方の施策も評価した上で、残りの部分を東御市が削減するというのを、市民にはっきりと分かるようにした方がよい。

市民みんなが関心のあるわけではないが、関心のある方には、資料編を見れば分かるようにした方がよい。

事務局

p40にある程度、国の施策を載せて、p43に部門での削減目標、東御市で計算した場合の経済指標、削減見込みの原単位に合わせた形で出しています。

資料編では p43 を、もう少し詳しくということでしょうか。

佐藤委員長

環境省の資料でも中身はないかもしれないが、明らかにされているところまでは示すことが必要なので、もう一段細かい内容があれば、探して、資料編に載せていただきたい。

正田委員

資料編の計算方法はこんな感じということで、一緒に本編に入れていただくとよい。

東御市地球温暖化対策というものは、こんなものがあるという、勉強できるきっかけにもなる良いものにしていただきたい。

【資料編の綴じ方、写真】

正田委員

写真が入ったことによって、すごく良い印象がある。ひとつひとつの写真に地名などが書かれていると、東御市の身近な大切にする自然の確認の意味にもなる。自然を大切にすることは、地球温暖化対策のきっかけになる。

関委員

第5章の扉写真・木の茂っている、東御市のすばらしい環境のものをに入れていただくと、良いのではないかと思います。

事務局

章の扉写真については、フリー写真を使っています。夏場、緑の季節に、良い写真を、事務局の方で撮っておけば良かったのですが、準備できませんでした。7つの章の扉写真には、

空、水、緑というテーマを考えて、フリーの使用可能なものを使っています。

そのほかの写真は、市の写真ですので、湯の丸山高原、オオルリシジミですとか、解説を入れさせていただきます。

佐藤委員長

地球温暖化対策のシンボルで、シロクマが出てくるのも悪くはないが、むしろ、東御市の写真の方が良いと思う。

委員の方で、写真をご提供いただけるものがあれば、ぜひ、お申し出いただきたい。

【計画の基本方針】 p5

佐藤委員長

基本方針の書き方、東御市の将来像についてご意見を賜りたい。

新田委員

将来像は、なかなか、すばらしいと思う。

基本方針の3つの柱は、市民の方の感性に訴えるものが一番良いと思う。

「環境への負荷の少ない暮らし」は、「無限の未来を信じられる社会・地域」など、生き活きとしてくる、感性の良い言葉はないかなと、正直、思います。

環境への負荷の少ない暮らし方は、決して生活が暗くなることなく、たとえば、江戸時代は、資料を見ると、東京には湖がいっぱいあって、暮らしている人は、電気も何もなくても生き活していた気がする。今の人は、これだけ工業科学が進んでも、本当に幸せか非常に疑問に感じている。

地球温暖化という問題は、決して暗い方へ進んでいるのではなく、本来の人間が最も喜びのある地域づくりの方向へ行くんですよという、「夢」がその中に入らないといけない。地球温暖化で、あまり仕組みだ、なんだと言うと、市民の方は遅行する。

佐藤委員長

新田委員のご提案を、深く考えてみると、将来像の「元気溢れる持続可能なまち、とうみ」を、もっと夢が描けるような形にしてはいかがかという印象を受けた。

社会の仕組みの部分を市が整えるのは、ある意味重要なので、仕組みの部分は生かしていただき、将来像の部分で夢を語ってはいかがか。

環境にやさしい暮らしを提案するのであれば、その暮らしをささえる仕組みが必要です。

この部分は、みなさんから、ご意見をいただき、再検討でいかがでしょう。

「環境への負荷」の負荷は、むづかしい単語なので、単刀直入に、地球環境にやさしい暮らし、など、負荷という単語を習っていない子どもたちにも分かるようにしていただきたい。

「ずっと続けられる」も、続けるだけではなく、続ける中身が環境にやさしくないといけない。

3点目、「市民」は、行政も事業者のみんなつながるので、「みんな」あらゆる対象となる表現にしていきたい。

事務局

いろいろご意見を出していただき、もう少したたいた方が良いと思うのですが、「将来像」という言い方は正しいのでしょうか。

アクションプランということだと、「今すぐ行動を起こそう。」「東御市から、全国へ発信しよう。」。池の波紋のように広めるため、「身近なことからはじめよう。」という合い言葉もあると思う。ご検討をいただきたい。

久木田委員

地球環境の話ではなく、東御をどうしようかという、クローズドな印象を受ける。東御を良くすることが、地球を良くすることにつながるという発信の方が、この計画にふさわしいと思います。

つながりも、三角形のピラミッド・産官学という風に見てしまう。

佐藤委員長

東御市が先進的に改革を試みることによって、地球全体に大きなインパクトを与えるというイメージで、将来目標を描いてみようということだと思う。

何らかの形で、意見を反映させていただければと思います。

p5の文言も気になる箇所があり、私たちは、地球温暖化対策に対して積極的に取り組みだけで終わっている。単に、積極的に取り組むだけではなく、全国に先駆け、先進的な取り組みを行うという視点が強調され、愛する東御市に誇りをもって住み続ける、地球温暖化防止に貢献するという表現で、検討いただきたい。

もし、事務局の検討材料を思いつかれたら、数日中にご意見をいただきたい。
とりまとめは、事務局にお任せしたい。

【各章の扉の一言】

佐藤委員長

追加された各章の扉の一言は、計画全体がどのような内容で作られているかを理解するのに重要な部分である

第3章の扉

産業構造などの地域特性は、たとえば「温暖化対策の推進に関わる地域特性」とした方が、分かりやすい。

第6章の扉

具体的な削減効果の表が追加されたので、取り組み内容などを、「取り組み内容とその結果達成される削減量」というように整理をしていただいてはどうか。

【本計画の名称】

工藤委員

計画名の温暖化対策は、温暖化「防止」対策の方が、より適切ではないか

佐藤委員長

地球温暖化対策は、温暖化の防止と緩和の2つの方向があり、本計画は、防止策のみが書かれている。ただし、「防止」を入れると、漢字が大変多くなる。

表記については、事務局に任せたい。

【長野県の温室効果ガス排出量】p16

宮原副委員長

長野県の温室効果ガス排出量の推移は、できる限り新鮮な数値を使っていたきたい。

【計画書の配布や広報活動】

石川委員長

作成される計画書200部、パンフレット1000部の配布先や、市民に向けての周知・広報について、事務局の考え方を示してほしい。

子どもでも分かるようなキャラクターとか、ポスターの掲示など、市民としての取り組んでいるのが分かるような広報手段を考えておられるのかお聞きしたい。

事務局

計画はホームページに載せるので、市民が見たりダウンロードしたりできることを前提としています。計画書の配布先は未定です。これから、企業との連携などの過程で活用させていただく予定です。

反省点として、小学生に環境ポスターを書いてもらい、計画に取り込むことも出来たかと思います。子ども達への浸透という良いご意見をいただいたので、今後、考えて進めて行きたいと思います。

宮原副委員長

同じことのつけたしだが、長野県の温暖化防止県民計画は、知っている方がほとんどいない。県も冊子とホームページで広報した。東御市の場合、せっかく苦勞して作って、あまりにも知られないと、計画も進んで行かない。小学生のポスターが、いろいろな場所で掲示されるのは、すばらしい方法と思う。PRして行くことが、一番大切と思う。

事務局

計画書 200 部は環境に配慮し白黒で、パンフレットは A4 8 ページのカラーで集約したものとして作成します。

「ホームページをどれだけ見るか」、「市報・広報をどれだけ読んでいただけるか」など問題はあがるが、広報は全世帯にいきわたるので、シリーズもので計画をお伝えします。地元の企業やお店と連携できる状況にもなりましたので、広報活動についても検討して行きたいのでよろしくお願いします。

佐藤委員長

市民向けの注目すべき活動をしている地域の方から先進的な事例お話しいただく公開講座とか、事業者を対象とした温室効果ガス削減のノウハウの講演会を連続して開催し、ホームページでの周知、映像のダウンロードなどを続けると、関心が少しずつ広がるのではないかな。

この計画を読んでくれでは、誰も知らないということになる。市が、予算的な範囲内で、ご検討いただければと思います。

森委員

ポスターの件ですが、千曲川流域レジ袋削減推進会議では、昭和初めの頃の女の人のイメージのポスターを製作した。まず、具体的に行動に移すには、視覚から入って行くのが良いので、ポスターには賛成です。冊子を読むのは大変。

【事業者の自発的取り組み】

中澤委員

長野県の地球温暖化対策では、工場で強制的に前年度 1 %削減と出てくるのですが、市では国・県の施策に上積みして 1.2%削減というやり方もあるのかなと思います。ただ、県は、市に対してそのような働きかけをすることはしないとのこと。事業者の取り組みを自発的に待っているだけでは弱いと思います。

佐藤委員長

事業者への広報を、意識的にやっていただかなくてはいけない。

【耕作放棄地への植栽】

森委員

長野県では 2010 年から 5 年間、耕作放棄地に木を植えて、森林の吸収量を増やす事業を行うそうです。東御市でも、同様の耕作放棄地の林野化の検討は、これからできるのでしょうか。県との連携や、計画への追加をしてはどうでしょう。

佐藤委員長

地権者問題、食料自給の点では農地の活用の観点もある。
今後の検討課題ではないでしょうか。

事務局

検討をしてみます。

【効果大・中・小の施策区分】

工藤委員 p69

里山・森林の保全と活用における削減効果は 2,204 トンと数字が大きいのですが、効果の
大中小はどのような判断でなされているのか。

事務局

効果小は、具体的に今取り組んでいるもので、効果中は効果小の欄と効果中の欄を足した
もので、効果大はすべて足したものになります。
2,204 トンの効果は、資料編 p4 のように、農林課が 2012 年の施策として算出したものです。

佐藤委員長

表 6-11 は、工藤委員のご指摘のとおり混乱しますね。
削減ケースの効果大、効果中、効果小は、効果大ケース、効果中ケース、効果小ケースのこ
とですね。

事務局

誤解のないよう、表の表記を改めます。

【レジ袋のポイント制】

事務局

p67 レジ袋削減運動の事業者の取り組みの欄で、「レジ袋有料化など」となっているのは、
実態と違うので、「レジ袋ポイント制など」に修正させていただきたい。

【天然ガス自動車】

久木田委員

P69 の貨物車の「LPG 車の導入促進」は、前回、お話しした天然ガス自動車のことでしょうか。天然ガス自動車であれば、略号より天然ガス自動車とされてはいかがか。

事務局

天然ガス自動車に修正させていただきます。

【コンパクトシティ】

佐藤委員長

p63 の表と本文で、「都市計画によって市街地に集中させると」あり、何を誘導するのが分からない。おそらく、主要な都市機能だと思いますが、分かりやすい記述にしていきたい。

事務局

「市中心部に都市機能を集中させる」に修正させていただきます。

佐藤委員長

市民が用件・用務を果たしたいときに、一箇所ですみます。そのような市街地の作り方をしますということだと思います。そこまでできますと、CO2 の排出削減にはつながります。

【将来像】 p5

関委員

事務局から、p5 の将来像で、まず行動をしようということが大事と言われた。市民にどうやって伝えるかですが、視覚に訴えて、分かりやすい方法でしていただきたい。ペットボトルのふたが、子どもたちにより、あっという間に集まるなど、ちょっとしたきっかけが大切と思う。「自宅で出来る堆肥化」を広報で紹介があったが、そういうことを、一つでもやっていくことが大切である。手はかかるけれども、お金や電気をかけずにやっていくことで、口コミで地域の中でみんなに伝えて行く。これが、東御市らしさかなと、ころがけていければいいと思います。

【5章の扉の一言】

佐藤委員長

第5章の扉の文言は、「温室効果ガス排出量の将来推計に基づいて、削減目標を定める。」という表現がよろしいのではないか。

【計画書の印刷】

佐藤委員長

計画書を印刷する場合の用紙は、できる限り森林環境にやさしい紙を使っていたきたい。たとえば、FSC 認証紙を使う、大豆インクを使う、有機溶剤を使っていない印刷システムなど、そんなに高いものではないので、ご検討いただきたい。できれば、ポスターや、パンフレットについても近い形で、検討いただきたい。配慮していますという、市の姿勢をみせることが大切である。

【具体的な計画】

中澤委員

第7章の推進体制ですが、計画策定よりも、計画どおり実行できるかがむつかしいと思っているが、具体的な推進のための計画は、どうなるのですか。

事務局

より具体的な計画の策定については考えていません。

市長からは、ここに書き込んだ施策について、どれを目玉にやっていくのか旗をあげろと言われています。予算の件もありますが、東御市の目玉を決めたら、どういうことができるのか、かみ砕いて、進めて行こうということになっています。

事務局

計画を作るだけで終わっては、何ともなりません。計画を作ると同時に、できるところから、どんどん、やっていきましょう。

市長からは、メガソーラの検討について話がありました。国の施策に乗り遅れないように、生ごみ、レジ袋、足元からどんどん進めようとしておりますので、よろしくお願いいたします。

佐藤委員長

今回の計画の良い点と思っているのは、効果小ケースの部分は、市の施策の中ですでにやられていたり、すぐにでもできるものがベースラインとしてあり、それにいかに、野心的に足して行くかという構造になっています。市には、効果小ケースの施策のすぐにできそうなことを、まずはやっていただきつつ、メガソーラのような効果大ケースにかかるものを積極的に推進していただきたい。ビジョンが描かれているつくりになったという点が、非常に具体的で、良かったと思います。ケース別に、的確にやっていただければと思います。

【委員の名簿の記載】

佐藤委員長

検討委員のお名前を掲載させていただくことで、よろしいでしょうか。

(異論なし)

4. 会議事項(事務局説明)

(2) 今後のスケジュールについて(事務局説明)

説明資料 「資料2 東御市地球温暖化対策地域推進計画策定スケジュール」

5. 会議事項(2)に関する委員からの意見と回答

【パブリックコメント】

佐藤委員長

パブリックコメントの手続きは、ポジティブ、ネガティブ両方を含めて、できるだけ多くのコメントが寄せられるのがのぞましいのではないかと思います。委員の方には、コメントを寄せてくださりそうな方に、できるだけ建設的に改善につながるような意見がいただけるよう、お声がけをしていただきたい。見る目が変われば、改善点は出てくると思います。形式的なパブリックコメントにならないよう進めたいと思う。

【モニタリング】

佐藤委員長

計画ができた後の、モニタリング体制等について、市の方で検討されていることはありますか。

事務局

計画の中で効果小ケースのすぐ取り組めるものも含めまして、年度内に庁内で平成22年度に取り組む主要事業を整理します。それについて、初年度、どういう進み方ができるのかを管理して行きたいと思います。

この検討委員会を、協議会に変えて行くのですが、その中でご意見をいただいて、振り返って行きたいと考えています。

佐藤委員長

管理で非常に重要になるのは、毎年東御市の削減排出量を計算する作業があり、コンサルタントに依頼する計算になる。実際に、目標値に向かって、着実に進んでいるのか、あるいは排出量が増えたのかを、毎年のように評価して行く必要があるので、予算措置をご検討いただきたい。削減量の確認をして、モニタリングを続ける作業は、2020年まで続けることになるのが本来ですし、ぜひ、それに近い形の努力をお願いしたい。

石川委員

協議会メンバーは、検討委員会の名前が変わってそのまま委員になるのか。計画を立てたから、後も面倒を見てということでしょうが、メンバーが加入されるのか。

事務局

諸事情があるので、どうしてもという場合は、入れ替わらざるを得ないこともありますが、基本的にはそのままでお願いしたいと考えています。

佐藤委員長

第5回の検討委員会があるということです。
これにて会議を終了します。

以 上